

「東京大学金曜特別講座」 2022 年度夏学期（オンライン講座）参加

（「光プロジェクト」～ 難関大学進学支援 ～）

- 1 実施日時 令和4年 4月15日（金）～ 令和4年7月15日（金）（13回）
17:30～19:00
- 2 実施方法 Zoom を利用したオンライン Live 形式
- 3 対 象 本校1～3年生（希望者：延べ58名）
- 4 講座内容
 - ① 4月15日（金） 野口 篤史 先生「量子ってなんだろう？——視て触る量子力学——」
 - ② 4月22日（金） 峰岸 有紀 先生「海と科学と三陸と——地方にある高等教育・研究機関の役割——」
 - ③ 5月 6日（金） 小泉 悠 先生「不思議の国ロシアを考える」
 - ④ 5月13日（金） 逆井 聡人 先生「焼跡と闇市の時代——石川淳「焼跡のイエス」を読む」
 - ⑤ 5月20日（金） 北山 貴裕 先生「トポロジーへの誘い——空間のかたちをやわらかく考える——」
 - ⑥ 5月27日（金） 土畑 重人 先生「『働かない』働きアリの進化生態学」
 - ⑦ 6月 3日（金） 河合 玲一郎 先生「データサイエンスとは」
 - ⑧ 6月10日（金） ディミトリ・ヴァンオーヴェルベーク 先生
「人はなぜ規制に従うのか、従わないのか——法社会学への招待」
 - ⑨ 6月17日（金） 石井 健 先生「ワクチンを科学する：『面白い』を楽しみながら『役に立つ』を
具現化するには」
 - ⑩ 6月18日（土） 岡田 由紀 先生「精子における究極のDNA収納術」 ※ 16:30からの特別講座
 - ⑪ 6月24日（金） 白波瀬 佐和子 先生「違いと不平等：ジェンダーに着目して」
 - ⑫ 7月 8日（金） 中澤 公孝 先生「パラアスリートの脳——可塑性と再編能力——」
 - ⑬ 7月15日（金） 川喜田 敦子 先生「ナチズムとその記憶～ドイツの学校では歴史をどう学ぶか」

◇ 東京大学教養学部が主催する「高校生と大学生のための金曜特別講座」。この夏学期には本校生延べ58名が参加しました。講座はすべてオンラインで実施され、生徒は自宅からスマホ、PCなど各自の端末を用いて受講しました。

◇ 内容はもちろんたいへん面白く、刺激的でした。そして今学期も、講義終了後の質疑応答（全国の高校生・中学生からの質問に講師の先生方が答える）が滅法面白く、盛り上がっていました。例えば、NHKなどに出演してロシアについてコメントされる機会も多い小泉先生の回など、現在の日本の10代が戦争と平和についてどのように考え、また感じているのかを如実に知ることができましたし、「働かない働きアリ」の回も、先生の研究内容に舌を巻くのはもちろん、全国の高校生の生物学的知識の豊富さ、鋭さに驚倒する思いでした。

今なおコロナ禍に悩まされている全国の高校生・中学生ですが、こうしてネットを通じてリアルタイムに同じ講義を受講し、最先端の研究成果に触れ、そして質疑応答にも参加できるので、オンラインによる恩恵を噛みしめることができる一時であったと思います。

◇ この講座に関して、本校は「提携校」になっていますので、冬学期にも引き続き参加させていただく予定です。気になる講座がありましたら、皆さんもぜひ参加・挑戦してみてください！

<生徒のアンケート結果から>

(Q1) 今回の講座を受講したことは、あなたにとって有意義でしたか？

- ・大いに意義があった (50.0%)
- ・意義があった (50.0%)
- ・どちらともいえない (0%)
- ・あまり意義がなかった (0%)
- ・意義がなかった (0%)



(Q2) 今回の講座の難易度はどうでしたか？ (複数回答可)

- ・かなり難しかった (0%)
- ・難しかった (50.0%)
- ・自分に適したレベルだった (37.5%)
- ・比較的易しかった (12.5%)
- ・たいへん易しかった (0%)



(Q3) 講座を受講しての感想を記してください。

- まだ習っていないこともあり少し難しかったが、とても興味深い内容でした。機会があればまた参加したいと思いました。
- 少し分かりづらいところもあったが面白かった。文理選択の判断材料にもなり良い経験だったと感じている。
- 大学の学部選びの参考になりました。
- 普段ニュースを見ているでも知り得ないことなどを、今回の講座を通して知ることが出来ました。ありがとうございました。
- 興味のある分野の講義を取ったので、より研究心を奮わせるものとなりました。特に、社会学と生物学の融合した内容では、分野の境界を超えた学びの形を知ることができ、広い視野をもつことのきっかけとなりました。大学の講義というとなかなか難しい印象を持つ人がいるかと思いますが、少しでも興味があれば一度取ってみることをおすすめします。自分の進路を考えるきっかけになりますし、専門的な内容を学べる機会となるからです。